



Advanced Management for Tableau Cloud

ミッションクリティカルな分析環境を管理、
セキュリティ保護、規模拡大



Evan Slotnick、製品管理ディレクター
Sterling Winter、アソシエートプロダクトマーケティングマネージャー

目次

はじめに.....	3
環境を把握	4
規模に応じたコンテンツ管理.....	6
セキュリティの強化	7
企業での拡張を実現.....	8
まとめ	9
Tableau について.....	9
その他のリソース	9



はじめに

あらゆる組織がさらにデータドリブンな組織になることを目指しています。どの業界でも、企業には膨大なデータが蓄積され、多くの企業がデータの意味を解明しようと取り組んでいます。幸い、Tableau を使用すればデータを容易に表示して理解できます。しかし、データの解析後には、インサイトを提供し、関係するデータに基づいてユーザーが意思決定を行うことができるようにするための機能が必要です。このような機能が必要な場合には、Tableau Cloud をご利用ください。Tableau Cloud は、世界トップクラスの分析プラットフォーム上で稼働する完全ホスティング型のクラウドベースのエンタープライズグレードソリューションです。

各部門での Tableau の利用が拡大し Tableau を使用するユーザーや Tableau の使用事例が増加すると、Tableau Cloud は、IT 部門が監督と管理を行うアプリケーションになります。全社規模のソリューションとして Tableau をサポートするには、ガバナンス、セキュリティ、キャパシティの強化が必要となることがよくあります。

Tableau Advanced Management では、ミッションクリティカルな分析を簡単に管理、保護、拡大できるため、管理者の時間を節約できます。Advanced Management は Tableau Cloud とは別のライセンスで提供されており、管理、セキュリティ、スケーラビリティの各機能を提供します。Advanced Management では次のことができます。

- **環境を把握。**運用インサイト機能により、Tableau 導入環境の実状を把握できます。
- **規模に応じたコンテンツ管理。**コンテンツライフサイクル管理の厳しいニーズに対応して、コンテンツの利用拡大をシームレスに行います。
- **セキュリティの強化。**データ暗号化キーの管理を強化し、組織のセキュリティ要件に対応します。
- **企業での拡張を実現。**Tableau Cloud の増加したサイト容量を利用して、ユーザーがデータに基づく意思決定を行うために必要なデータにアクセスできるようにします。



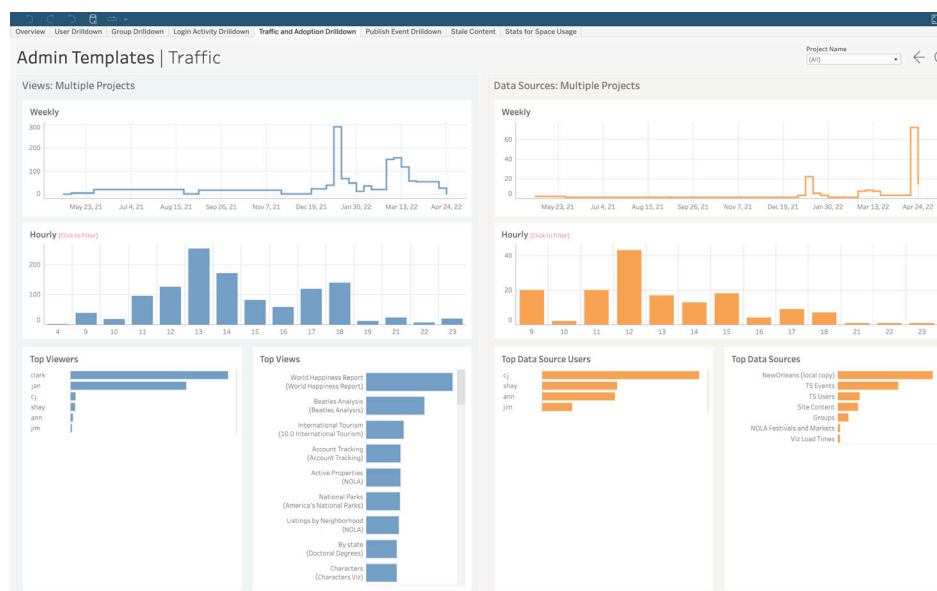
環境を把握

Tableau を利用するユーザーが増加するにつれ、Tableau は組織の業務に欠かせないアプリケーションとなります。ユーザーは操作のしやすさと、管理およびキューレーションされたエクスペリエンスを求めています。管理者の導入環境への取り組みが受け身的でそれほど熱心ではない場合、期待に適切に対応できず、不十分な導入となり、データドリブンな意思決定が行われる回数は少なくなります。大規模な Tableau Cloud 導入環境を管理し、ユーザーエンゲージメントを維持するには、先を見越した詳細な監視が必要です。

Advanced Management for Tableau Cloud を利用すれば、監視作業が改善、簡素化され、ユーザーの行動とユーザーによる利用を経時的に追跡できます。アクティビティログと管理者インサイトの最大 365 日分のデータにより、Tableau Cloud エコシステムを容易に管理できます。

アクティビティログは、既存の監視データよりもさらに詳細なイベントデータを提供します。これにより管理者は各ユーザーの Tableau の使用状況を追跡できます。アクティビティログが構成されると、1 時間おきに AWS S3 バケットで JSON ファイルを受け取るようになり、Tableau Cloud の利用状況データをご使用のセキュリティ情報およびイベント管理ソリューションに統合できます。アクティビティログを使用してパーミッション監査を実施し、ユーザーが適切なコンテンツにアクセスしていることを確認できます。

管理者インサイトは、事前に作成された管理者インサイトスターターワークブックとキュレーションされたデータソースを備えた Tableau Cloud プロジェクトです。Advanced Management では、管理者インサイトにデータを最大 365 日まで保持できるため、サイトの利用状況、Viz パフォーマンス、パブリッシュ関連アクティビティの経時的な追跡をさらに効果的に行えるようになります。



事前に作成されているコンテンツを利用する場合でも、カスタム管理ビューを作成する場合でも、データが増加することで、以下のような履歴に関連する情報を簡単に確認できます。

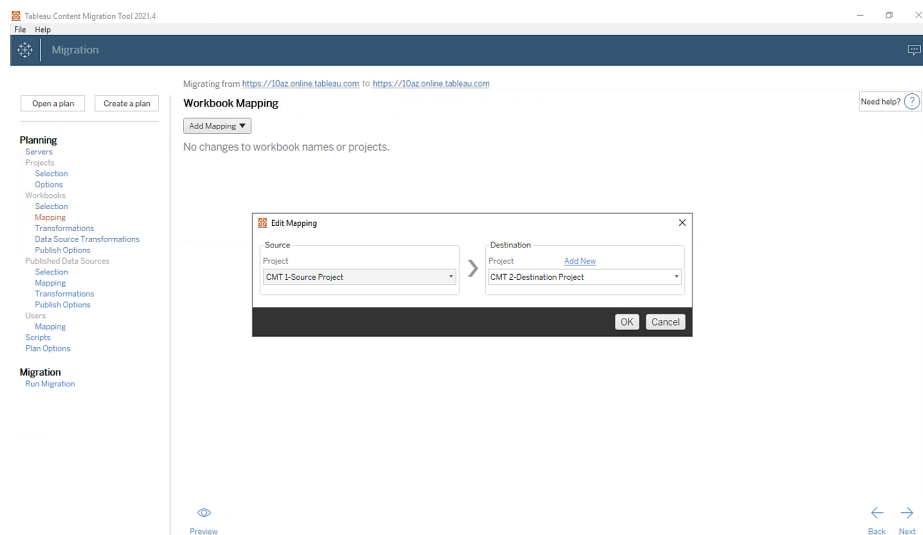
- Tableau コンテンツを最も多く作成しているユーザーは？
- 過去 100 日間にログインしていないユーザーは？
- 最もよく使用されているビューとデータソースは？
- 使用されなくなったコンテンツは？

このような情報を把握しておくことで、ユーザーエクスペリエンスを改善できるだけでなく、Tableau エコシステム全体での利用が拡大します。また、社内でチャンピオン（推進者）を見つけることもできます。チャンピオンは、他のユーザーにベストプラクティスを紹介し、Tableau を初めて使用するユーザーが支援を必要としている場合に手を差し伸べ、ワークブックとデータソースへの投資に対する効果を明らかにし、ユーザーが必要なデータを簡単に見つけることができるように古いコンテンツを削除してくれます。

規模に応じたコンテンツ管理

コンテンツ管理は、コンテンツガバナンスプラクティスにおける重要な要素であり、組織内のすべてのユーザーがデータと分析を有効に利用できるようにする上で欠かせません。コンテンツ管理がなければ、ユーザーは関連性のない、古い、または重複したワークブックやデータソースが多くある中から必要なコンテンツを見つけることがますます難しく感じるようになります。Content Migration Tool により、コンテンツの利用拡大やアーカイブなどのタスクが自動化されます。これにより、組織のコンテンツライフサイクルの要件を満たし、優れたユーザー エクスペリエンスを提供できます。

コンテンツ管理は、難しい作業である必要はありません。たとえば、コードを使わないスムーズで再現可能な移行計画によって、Tableau Cloud 上の開発プロジェクトと本番プロジェクトの間でコンテンツを簡単に利用拡大できます。コンテンツの利用拡大プロセスでは、データソースを再マッピングし、ワークブックのその他の変換を実行して、ワークブックを他のユーザーと共有できます。Content Migration Tool のユーザーインターフェイスでは、移行計画の作成プロセスが手順に沿って説明されます。この移行計画は、1 回だけ利用することも繰り返し利用することもできます。



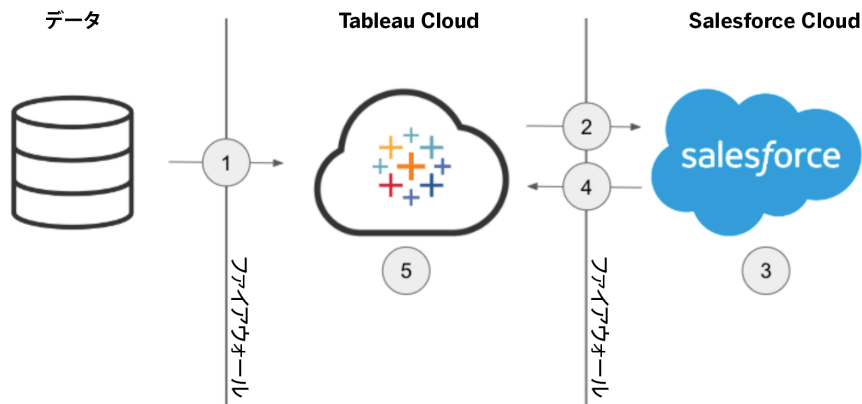
セキュリティの強化

データセキュリティは重要です。Tableau Cloud のデータは保存時でも通信時でも常に暗号化されますが、お客様によっては暗号化キーに関する固有のセキュリティ要件が定められていることがあります。顧客管理の暗号化キー（CMEK）により、Tableau Cloud を離れずに、キーを作成、ローテーション、監査、削除できます。

The screenshot displays the Tableau Cloud settings interface. On the left is a navigation sidebar with options like Home, Favorites, Recents, Shared with Me, Recommendations, Personal Space, Collections, Explore, Users, Groups, Schedules, Jobs, Tasks, Site Status, and Settings. The main content area is titled 'General' and includes tabs for 'Extensions', 'Integrations', and 'Connected Apps'. At the top right of the settings area are 'Revert' and 'Save' buttons. The 'General' section contains two radio button options for 'lineage' visibility: 'Show complete lineage (default)' and 'Show partial lineage'. Below this is the 'Extract Encryption' section, which includes a checkbox to 'Enable encryption of extract refreshes and generate key'. It displays key details: Key ID: 12:A076C8582008..., Key Version ID: 042d5a74-b42a-43..., Key Created Date: 2022-03-23, and Key Rotated Date: 2022-03-28. An 'Actions' dropdown menu is open, showing 'Generate and Rotate Key' and 'Delete Key' options. A 'Download Log' button is also present. The 'Tableau Mobile' section has a checkbox for 'Enable offline favorites' and a note about app lock requirements. The 'Sharing' section has a note about direct sharing.

CMEK は Salesforce Shield Key Broker を採用しており、お客様のサイトに固有のマスター暗号化キーが Salesforce の KMS Service に保管されます。CMEK と組み込みの暗号化ストレージを活用することで、データを保護し、厳格なコンプライアンス要件に対応することを可能とする多層防御戦略が提供されます。全体的なアーキテクチャの図と説明については、以下を参照してください。

仕組み



1. データ抽出が Tableau Cloud に送信されます。
2. Tableau Cloud により CMEK 機能が有効かどうかを確認され、有効な場合には Salesforce KMS の抽出キーを要求します。
3. Salesforce KMS により抽出キーの 2 つのバージョンが作成されます。1 つはプレーンテキスト、もう 1 つはマスター暗号化キーで暗号化されたものです。これによりエンベロープ暗号化を利用できるようになります。マスター暗号化キーは Salesforce の KMS に保持されます。
4. 抽出キー（プレーンテキスト）と抽出キー（暗号化）が Tableau Cloud に送り返されます。
5. 抽出キー（プレーンテキスト）を使用して抽出が暗号化され、その後この抽出キーは破棄されます。抽出キー（暗号化）と暗号化された抽出が Tableau Cloud に一緒に保存されます。

企業での拡張を実現

分析が成功するかどうかは、関連性があり管理された最新のデータソースをユーザーに提供できるかどうかによります。新しいデータソリューションを利用し始め、データの量が増加すると、この状況に応じて Tableau Cloud を拡張できます。Advanced Management for Tableau Cloud を導入すると、お客様のサイトで次のキャパシティが実現します。

- 1 TB のストレージ
- 最大 25 の抽出更新の同時実行
- ワークブック / データソースの最大サイズ : 25 GB

まとめ

Advanced Management for Tableau Cloud を利用すれば、管理者は運用環境について理解し、管理タスクを合理化し、組織のセキュリティ要件に対応することができ、またより多くのデータを処理できます。Advanced Management の管理、セキュリティ、スケーラビリティ機能は、Tableau Cloud を使用してデータドリブンな組織へと移行するお客様を支援します。詳細については、担当のアカウントチームにお問い合わせください。

Tableau について

Tableau は、極めて幅広く充実した機能の分析プラットフォームによって、人々および組織がさらにデータドリブンになることを支援します。完全に統合されたデータ管理とガバナンスに加え、組み込みの AI、データストーリーテリング、コラボレーション機能を備えたビジュアル分析が組み込まれています。オンプレミスでもクラウドでも、また Windows でも Linux でも、Tableau はテクノロジーへの既存の投資を活かし、お客様のデータ環境の進化に合わせた規模の拡張が可能です。

その他のリソース

Tableau Data Management

統合されたデータ準備、カタログ作成、検索、ガバナンス機能により、常に信頼できる最新のデータを活用して意思決定が行われるようにします。[詳細情報 →](#)

Tableau Blueprint

何千もの Tableau のお客様との経験から長年にわたり蓄積してきた専門知識とベストプラクティスに基づいた、規範的な手順ガイドを活用して、よりデータドリブンになりましょう。[詳細情報 →](#)

IT 部門のための Tableau

データドリブンになるための取り組み段階に関わらず、組織全体で Tableau 分析環境を導入、サポート、規模拡大するためのツールがさらに用意されています。[詳細情報 →](#)





 **tableau**®

